

会 議 記 録			
会議の名称	環境市民厚生常任委員会		会議場所 全員協議会室 担当職員 小野
日 時	令和4年10月28日（金曜日）	開 議	午前 10 時 00 分 閉 議 午前 11 時 42 分
出席委員	◎長澤 ○大塚 富谷 平本 並河 三宅 西口（欠席：竹田）		
理事者出席者	【環境先進都市推進部】 【環境政策課】 大倉課長、鈴木副課長、名倉副課長、橋本主幹 【資源循環推進課】 大西課長、西田施設担当課長、酒井計画係長 【健康福祉部】 佐々木部長 【地域福祉課】 田端課長、西山副課長 【健康増進課】 中山課長、中村健康事業担当課長、玉井副課長、大原主幹		
事務局	井上事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

1 開 議

2 行政報告

[理事者入室] 環境先進都市推進部

(1) ごみ収集業務中のごみ収集車の火災事故について

<環境政策課長>

(あいさつ)

<資源循環推進課長>

(資料に基づき説明)

～10:30

[質疑]

<富谷委員>

今回は、千代川町自治会に協力していただき、個別に周知するとの説明であったが、改めて今回のような危険性があるということを各町で周知・啓発していただきたい。

<並河委員>

パッカー車の納入が遅れる理由は。

<資源循環推進課長>

新型コロナの関係でパッカー車に限らず、乗用車も入荷されない状況であると伺っている。早急にパッカー車を確保したいと考えているが、車販売事業

者に確認したところ、状況は変わっておらず、今年度末までに確保することが難しいと考えられるため、債務負担行為を設定し、令和5年度にかけて確保したいと考えている。

<三宅委員>

車を長く使い続けることは大切であるが、市民生活に直結する業務なので、古くなっている車両は故障する前に更新していただきたい。

<資源循環推進課長>

計画を立て、使用年数や経年劣化の状況を見て更新している。

<平本委員>

限られた予算の中で小規模な修繕を繰り返されているが、必要不可欠な業務であるため、適正に予算を確保していただきたい。

<資源循環推進課長>

現在は、予算の関係もあり支障がない程度で修繕を行っているが、今後は大きく見直しを行っていく必要があると考えている。また、国や京都府からごみ処理の広域化を見据えた中で改修を行うように言われており、南丹市や京丹波町と協議を行っているが、財政状況が厳しい中、関連する予算などが必要になることも考えられるため、その際には、委員にもサポートをお願いしたいと思っている。

[理事者退室] 環境先進都市推進部

[理事者入室] 健康福祉部

(1) 電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業について

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<地域福祉課長>

(資料に基づき説明)

～10:49

[質疑]

<並河委員>

生活保護費は収入に含まれるのか。

<地域福祉課長>

前回と同様で収入認定しない。

<富谷委員>

対象期間中に収入を立て直した方は対象になるのか。

<地域福祉課長>

任意の月で積算するため、個別に相談していただきたい。

<平本委員>

財源は国が負担するが、労力は市が負担することになる。マンパワー的に通常業務に影響はないか。

<地域福祉課長>

全く影響がないということはないが、困っている方へ速やかに支給するため、委託などの手法で対応していきたいと考えている。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種について

<健康増進課長>

(資料に基づき説明)

～11:05

[質疑]

<平本委員>

今年は、新型コロナと並行してインフルエンザが流行するといわれているが、インフルエンザのワクチン接種に対応できる医療機関を公表する予定はあるのか。

<健康増進課長>

発熱外来を行っている医療機関は、京都府のホームページに掲載しているため、そのことを周知していきたいと考えている。

<平本委員>

一部のメディアで、新型コロナワクチン接種後の後遺症について報道されているが、本市として状況を把握しているのか。

<健康増進課長>

副反応の状況は医療機関から報告され、件数は厚生労働省のホームページに掲載されている。救済制度の利用窓口は健康増進課となっており、医療機関や本人からの相談などに対応している。

<長澤委員長>

医療機関は、副反応の状況を保健所に報告されるのか。

<健康増進課長>

独立行政法人医薬品医療機器総合機構を通じて国に報告される。

<平本委員>

本市における救済制度の利用実績は。

<健康増進課長>

相談は随時受け付けており、国に利用実績として報告した件数は1件である。

<大塚副委員長>

休日急病診療所では、発熱された方が受診される場合、全員にコロナの検査を行うのか。

<健康増進課長>

そのとおりである。

<富谷委員>

インフルエンザワクチン接種の予約が始まっているが、昨年度はワクチンが供給できず接種できなかった方もいたと伺った。今年度もかかりつけ医がない場合は、ワクチン接種の予約もできない状況であると聞かすが、実態はどうか。

<健康増進課長>

現時点では、ワクチンが足りないとは聞いておらず、予約も取れないとは聞いていない。

<並河委員>

最新のコロナ感染者数は。

<健康福祉部長>

国が感染者数の全数を発表することはなくなった。そのため、国や京都府から感染者数に関する情報はなくなったが、把握している限り、感染者数は減っているが、一定数はいると聞いている。ただし、以前のように1日当たり80人や100人といった状況ではなく、低い水準で落ち着いていると確認している。

[理事者退室] 健康福祉部

3 その他

<大塚副委員長>

令和4年10月5日に、千代川町で埋め立てごみを収集しているパッカー車から、不適正な廃棄物が原因と思われる火災が発生し、消火活動のため同車の荷室側面を切開したため、車両の復旧が困難な状況が発生した。現状では、予備車両を活用して引き続きごみ収集業務を行っているが、市民生活に影響がないよう、早急に予算措置を講じ、新たなパッカー車を調達するべきであると考え。賛同を得られるのであれば、環境市民厚生常任委員会として、市長に対し提言を行ってはどうか。

<長澤委員長>

大塚副委員長が提案された内容について、環境市民厚生常任委員会として、市長に対し提言を行うこととしてよいか。

—了—

<長澤委員長>

提言の内容について、大塚副委員長から提言書案を示していただいているが、この内容について意見はあるか。

(意見なし)

<長澤委員長>

この内容で市長に提言を行う。市長に提言を行う際の出席者はどのようにするか。

<平本委員>

正副委員長でよいと思う。

<長澤委員長>

そのように対応してよいか。

—了—

<長澤委員長>

次回の委員会は、11月17日(木)午前10時から行う。

散会 ～ 11:42